令和5年度 事業報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

学校法人 椿本学園 大阪社体スポーツ専門学校

令和5年度 事業報告

1. 教育活動状況

「教育体制」

多様化する学生個々の環境に対して適切な対応が求められるため、教員全体での情報共有を 行い、学生のフォローアップに対して注意力の強化を組織的に行った。特に学生の家庭や生 活環境における、悩みや相談を重視しコミュニケーションを図りながら、学生の修学に対し て意欲向上とドロップアウト防止に力を入れた。

資格試験対策も対策授業の時間や日数を増やし、合格率が 100%になるよう努めた。その結果、難関のアスレチックトレーナー資格合格者が増加し目標を達成できた。他の資格試験の合格率も向上していることから次年度に向けてこの体制を維持する。

「宿泊研修、インターンシップ」

1年生を対象に4月のフレッシュマン研修を新型コロナウイルスの感染対策を継続しながら1泊2日で実施した。学生にとって入学して学校生活に慣れ親しむためと目的意識の確立に対して宿泊研修としての成果を上げることができた。1月末には、1年生全員を対象としたレベルアップ研修を2泊3日で行った。1年生としての仕上げの教育研修としてだけではなく、2月に行くインターンシップに向け、知識だけではなく、社会人としての立ち居振る舞いを身につけることを目的として行った。そのため、学生もしっかり前向きに取り組む姿勢が多く見受けられた。内容については、現場の講師を招き新入社員研修で行われるプログラムを取り入れ、学生が現場で求められている社会人基礎力を身につけさせることができた。インターンシップにおいては、1年生も2年生も各コースともに昨年より多くの企業が受け入れを実施していただけるようになった。インターンシップ実習では、学校での学びをどれだけ現場で発揮することができるか、更には身に着けている実践的なスキルをどのようにしてアウトプットするのか等、学生の積極的な取り組みを発揮する場となり有益であった。

「クラブ活動実績」

今年度の専門学校の課外活動については、コロナ禍以前のように通常の活動と大会が行われた。本学は関西専門学校体育連盟主催大会には全ての種目が出場し、テニス部の男女、バスケットボール部男女、バレーボール部男子が全国大会へ出場した。全国大会の結果は、テニス:男子団体3位、女子団体準優勝、バレーボール:男子5位、バスケットボール:男子・女子ともにベス8の結果を残した。

「森ノ宮医療学園との W スクール状況」

森ノ宮医療学園専門学校と提携し行っているWスクールについては、AT 医療特修コース入学者の1名が進学した。3年目の学修を終えた鍼灸学科2名が国家資格に合格することができ

た。また、令和 5 年度大阪社体スポーツ専門学校からのAT医療特修コース入学者は1名である。森ノ宮医療学園からのAT医療特修コース入学者も1名である。

令和6年度のAT医療特修コースおよび森ノ宮医療学園からの入学者予定者はいない。

2. 学生募集

入学者は昨年並みであった。

2023年4月入学者: 75名(健康スポーツ科: 57名 専攻科:18名) 2024年4月入学者: 73名(健康スポーツ科: 62名 専攻科:11名)

10月にホームページをリニュアル。トップページでは本校の学生の活動がわかるような画像をアップしながらトレーナー活動を配信するコーナーやスポーツネタを中心に毎週、有益な情報を配信するコラムのコーナーを新設した。オープンキャンパスでは参加者は減少したが入学者の歩留まり率は昨年の30%から40%へ上昇したことにより昨年同等の入学者数を維持する結果になった。参加者の減少は競合校との競争激化及び大学全入時代に突入し、一段と大学側の学生取り込みの影響が大きいと推察している。次年は新たな取り組みを実施することが急務である。

3. 就職支援状況

就職支援については毎年早い時期から学生の就職意欲を高めるように就職担当とコース担当が連携を取り進めながら就職指導を行っているが、今年は学生自身の積極性がやや乏しい状況であった。最終的な就職指導の結果は、進学者等も含めると98.5%と昨年に引き続き好調な進路決定率を確保することが出来た。

警察官・消防官コースについては、対策講座の開催や模擬面接指導を充実させることにより、 より一層のサポート体制を整備した結果、消防官が4名、警察官1名、自衛官1名であった。

4. 人事採用状況

事務職員3名と教員1名が、2024年3月で退職した。 このことによって事務職員3名を補充した。

5. 施設整備状況

屋上の防水工事を行った。